

図書館だより

発行：千葉市図書館 <https://www.library.city.chiba.jp/>
 千葉市中央図書館 〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7
 ☎043-287-3980 移動図書館☎043-287-3983

内容【1面】オンラインデータベースサービスの提供開始について
 【2面】土気南中学校との連携事業/
 レファレンス事例⑤1/資料の弁償について

みやこ図書館 043-233-8333
 白旗分館 043-264-8566
 花見川図書館 043-250-2851
 花見川団地分館 043-250-5111
 みずほハスの花図書館 043-275-6330
 稲毛図書館 043-254-1845
 若葉図書館 043-237-9361
 西都賀分館 043-254-8681
 泉分館 043-228-2982
 緑図書館 043-293-5080
 あすみが丘分館 043-295-0200
 土気図書室 043-294-1666
 美浜図書館 043-277-3003
 打瀬分館 043-272-4646

オンラインデータベースサービスの提供開始について

令和5年10月より、中央図書館でオンラインデータベースサービスの提供が始まりました。これまでも、国立国会図書館がデジタル化した資料を利用できる「国会図書館デジタル化資料送信サービス」を提供していましたが、新たに法律・行政に関する情報や新聞記事などを検索して、閲覧・複写していただくことができるようになりました。

利用を希望される方は、中央図書館2階にある総合レファレンスカウンターへお越しください。

〈利用可能なデータベース〉

データベース名	概要
D1-Law.com	法令や判例、法関連文献を検索できます。
官報情報検索サービス	昭和22年5月3日から当日分までの官報を検索できます。
ジャパンナレッジ Lib	百科事典、国語辞典や語学辞典から、人名や科学の専門辞典など、70種以上の辞事典、雑誌記事、叢書などを検索できます。
日経テレコン21	日経4紙（日本経済・日経産業・日経MJ・日経金融）などを検索できます。
朝日新聞クロスサーチ	明治12年以降の朝日新聞の記事や、週刊朝日、AERA、アサヒグラフなどを検索できます。
ヨミダス歴史館	明治7年以降の読売新聞の記事や、The Japan News（英字新聞）などを検索できます。

電子書籍 ～もうお試しになりましたか？

「千葉市電子書籍サービス」（市内在住・在勤・在学の方限定）は、インターネットにつないだパソコン、スマートフォン、タブレット等でいつでも・どこでも専用の電子書籍が楽しめます。文字の拡大や読み上げができるものなど、電子書籍ならではの便利な機能を備えた本もあります。新着書籍も徐々に増えています。ぜひご利用ください。

千葉市電子書籍サービス

<https://web.d-library.jp/chiba/>



緑図書館あすみが丘分館では、土気南中学校1年生約130名による移動学習の受入れを行いました。

6つのグループに分かれ、午前9時からの班、10時からの班で、それぞれ3班毎に次の各項目を実施しました。

- ・土気あすみが丘プラザ3階図書フロアで本の閲覧
- ・2階幼児室で本の読み聞かせ
- ・3階会議室で、学校のタブレット端末「ギガタブ」を使つての千葉市電子書籍サービスの利用体験

一つのセクションで15分という短い時間で、次の会場に移動、また、場所を変え、という具合にタイトな時間割の中、学校側が多くの先生を配置してくださり、生徒の誘導や整列、電子書籍サービス体験におけるギガタブ操作の助言など、重要な役どころを担ってくださったお陰で、なんとか無事終えることができました。今回の反省点を踏まえ、次年度以降も事業を継続し、子どもたちが読書に親しむ機会を充実させるお手伝いができれば幸いです。



千葉市電子書籍サービスの利用体験の様子

「画家の田中一村が千葉市で暮らしていた頃の様子を知りたい。」

田中一村（たなか・いっそん 1908年～1977年）は、『アダンの海辺』など南国の自然を描いた作品で知られています。奄美に移住する1958年までの20年間は千葉寺町に住んでいました。

その住居は、大矢鞆音著『評伝 田中一村』（生活の友社2018年）によると「千葉駅を出て大網街道を南進し、千葉寺を過ぎた右側の高台の中腹」にありました。

同書で「多くの書籍に引用され、一村を語るときの基礎資料」と紹介されている本が、南日本新聞社編『アダンの画帖』（道の島社1986年、小学館1995年再刊）です。1999年に『日本のゴーギャン 田中一村伝』として文庫化されました。農作業をして食糧を自給し、画材となる鳥や植物を育てスケッチに励む様子が書かれています。

『別冊太陽 田中一村』（平凡社2019年）には、自宅周辺の見取り図や、戦後から平成に至る千葉寺町の航空写真4枚が掲載されています。一村が千葉寺の農村風景を描いた作品は数多く残されており、同書でも見る事ができます。

千葉市図書館利用案内の中で「図書館の資料を紛失・破損・著しく汚損したときは、弁償していただくことがあります。」とご案内しておりますが、実際の運用について簡単にお知らせします。

図書館として、弁償かどうか判断するのは、その資料が利用・提供に適さなくなってしまうか、という点です。

代表的なケースは、水濡れやページの破損や衛生的でない汚れが付着した場合等で、文字



が読めない等、次のお客様が困る状態であれば、原則、弁償対象となります。ただし図書館側で修理可能な軽度のものであれば、弁償対象外となります。早めの処置をすれば、復元できる可能性も高まります。

次に、弁償となってしまった場合ですが、原則として、現金による支払いではなく、同じ資料を用意していただけます。同じ資料を用意することがどうしても難しい場合は、図書館側で弁償対象資料と同じくらいの価格の資料を指定して、用意いただく場合もあります。

借りた本に何かあったときは、まずは図書館にご相談ください。